

# JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第62回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第167回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

## ◇日本惑星科学会第62回総会議事録

日時:2024年9月25日(水) 16:30-17:30

場所:九州大学 医学部 百年講堂

正会員数:657名

定足数:66名

参加人数:150名

委任状:102通(議長:97通, 中村昭子会員, 渡部潤一会員, 佐々木晶会員, 諸田智克会員, 山本裕也会員:各1通)

### 1. 開会宣言

諸田総務専門委員が開会を宣言。

### 2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に小林真輝人会員, 書記に辰馬未沙子会員が選出された。

### 3. 議事

#### 3.1. 審議事項

・第18期上期(2025年度)一般会計・特別会計予算案(横田財務専門委員)

一般会計予算と学会賞特別会計予算の収入や支出について説明がなされた。

学会誌のページ数増加による印刷費増大や, 事務員1名の雇用による支出増加などにより, 250-260万円の赤字であるとの報告がなされた。また, 振込用紙の印刷と送付の省略で20万円を削減できること, その場合でも銀行に備えられている振込用紙で振込可能であることが説明され, 来年度から振込用紙の印刷と送付を実施しないことが提案された。

・その他

なし

・質疑応答及び討論  
なし

・採択

審議事項の採決が行われ、賛成: 245(うち出席者143), 反対: 0, 保留: 0により採択された。

### 3.2. 報告事項

・第18期(2025年度)役員選挙について(諸田総務専門委員)

会長1名, 運営委員12名の選挙について説明がなされた。

運営委員選挙については被選挙人から除かれる正会員に投票した場合には無効票となることに留意してほしいなどの説明がなされた。

・事務局体制検討作業部会検討状況について(諸田事務局体制検討作業部会長)

部会の活動内容(新システム移行に関する費用の見積もりや, 他学会に関する調査など)について説明がなされた。

(1) JpGUの新システムを使う案, (2) スマートコア+MLサーバーを使う案の2つの案があるとの説明がなされた。今後の予定については, 来年度には新事務局体制方針を決定し, 2027年には新システムへの完全移行を目指しているとの報告がなされた。

質疑応答: 現状の事務局に関する整理をしてから新事務局体制方針を決定すべきとの指摘があり, その通りとの回答がなされた。

・自然災害に伴う会費免除措置について(横田財務専門委員長)

会費免除措置について, これまで通りに申請してほしいとの説明がなされた。

対象となる者については, 近隣の地域など解釈の余地を残しているので相談してほしいとの説明がなされた。

・2024年度秋季講演会開催報告(奈良岡2024年秋季講演会組織委員長)

2024年度秋季講演会の実施状況について説明がなされた。

参加者数は296名, 講演数は246件と過去最多であり, 30件については口頭からポスターへ回っていただいたとの報告がなされた。また, 学会から30万円の補助があったとの報告がなされた。

・2025年度秋季講演会開催案内(成田2025年秋季講演会組織委員長)

2025年度秋季講演会の開催計画について説明がなされた。

期間は2025年9月3-5日, 会場は東京大学駒場キャンパス(最寄り駅: 駒場東大前)のKOMCEE EASTとの報告がなされた。また, 本郷キャンパスや柏キャンパスではないので気をつけてほしいなどの説明がなされた。

・その他

遊星人デジタル化について(三浦編集専門委員長)

遊星人デジタル化について説明がなされた。

現状, 遊星人出版事業費が会費収入の約40%と圧迫しており, 今後事務局を移転するため経費を削減したいとの説明がなされた。(1) 完全電子化, (2) 部分電子化, (3) 電子化+プリント・オン・デマンド(POD), (4) 従来通りの4つの案があるとの説明がなされた。(1)の場合は130万円の経費削減になること, (2)の場合は8-110万円の経費削減が見込まれるが, 管理が大変になり会費が不公平になるという懸念があること, (3)の場合は130万円の経費削減になるが, 購入する会員の負担が増えること(Amazon等で1冊あたり1000円), (4)の場合は会費を2000円増や

す必要があることなどの説明がなされた。また、意見があれば編集部に連絡してほしいとの説明がなされた。

質疑応答:

電子化の場合のスケジュールはどのようになっているか?→未定である。

電子化の場合の組版は今まで通りなのか?→今まで通りである。

電子化の場合に購読会員や国会図書館への送付はどうするのか?→50部の製本であれば完全電子化と同じくらいの削減効果があり、今まで通りの送付は可能である。

他の報告:来年度の前フロンティアセミナーについての報告がなされた。

開催時期は9月中旬、場所は北海道の新篠津、講師は名古屋大学の犬塚修一郎氏、テーマは星惑星形成理論との報告がなされた。

### 3.3. 学会賞受賞式

・2023年度最優秀研究者賞(竝木会長)

田崎亮会員に対して、表彰状及び副賞が贈呈された。

・2024年度最優秀発表賞・優秀発表賞(百瀬学会賞選考委員長)

審査結果発表及び審査講評の報告がなされた。

過去最多である21名からの応募があり、うち11名が本審査対象となったとの報告がなされた。最優秀発表賞を吉田有宏会員と神野天里会員が、優秀発表賞を平井英人会員と福原優弥会員が受賞したと発表された。

全体の講評として、年々質が高くなっており、本審査対象とならなかった応募者も研究の質は総じて高いとの報告がなされた。また、来年度の応募も歓迎するとの説明がなされた。

竝木会長により、平井英人会員と福原優弥会員に対して表彰状が、吉田有宏会員と神野天里会員に対して表彰状及び副賞が贈呈された。

### 4. 議長団解任

### 5. 閉会宣言

諸田総務専門委員が閉会を宣言。

以上

## ◇日本惑星科学会第167回運営委員会議事録

日時:2024年9月24日(火)19:00-21:10

場所:九州大学 医学部 百年講堂 会議室1

+ Teams Meeting(ハイブリッド)

### 運営委員:

出席者 18名

竝木 則行, 今村 剛, 中村 昭子, 玄田 英典, 奥住 聡, 大竹 真紀子, 千秋 博紀, 小林 浩, 田中 秀和, 諸田 智克,

白井 寛裕, 三浦 均, 横田 勝一郎, 亀田 真吾, 関 華奈子, 百瀬 宗武, 野村 英子, 癸生川 陽子

欠席者 5名(委任状:会長4名, 玄田会員1名)

保井 みなみ, 関根 康人, 中本 泰史, 瀧川 晶, 村上 豪

オブザーバー:

共催依頼主(平田 佳織(東大/宇宙研), 鈴木 雄大(宇宙研))

奈良岡 2024年秋季講演会組織委員長

成田 2025年秋季講演会組織委員長

藤谷 総務専門委員

## 議題・報告事項:

### 1. 共催依頼について(平田会員, 鈴木会員)

水星ワークショップ2025を2025年2-3月に開催する予定. 学生・若手研究者有志の間で, 水星に関する共同研究やBepiColomboの観測提案について集中的に議論することを目的とする. 惑星科学会には, 共催に加わった上で, 研究費を持たない学生向けの旅費補助の助成(総額25万円, 1人あたり5万円程度)をお願いしたい. SGPSSにも共催・助成をお願いする予定.

遊星人に研究会報告を書いてもらうことを条件に, 共催が賛成多数で認められた. なお, このような共催依頼に対応する仕組みが必要ではとの意見が運営委員より上がった. そのような仕組みは今後議論し, 当面は個別に判断することとなった.

### 2. 2024年秋季講演会報告(奈良岡 2024年秋季講演会組織委員長)

参加者296名, 講演数246件. 口頭発表107件, ポスター139件(口頭から30件回ってもらった). 学会本体からの補助のため, 赤字なしの見込み.

### 3. 2025年秋季講演会実施案(成田2025年秋季講演会委員長, 東大LOC)

9/3-5に, 駒場の会場(250名入る)を押さえた. 参加費は2024年度と同程度の見込み. 2026年度は新潟大学に打診中.

### 4. 事務局運営体制について(諸田 事務局体制検討部会長)

現状の収支に基づいた事務局費用見積もりは440万円. 収支差額は200万(赤字). 新体制は240万円で運用する必要がある. 会員管理システム新規開発(惑星科学会単独)は費用を考えると成り立たない. そこで, 新体制案として, A1案: JpGU新システム+ JpGU事務委託, A2案: JpGU新システム +業者事務委託, B案: 既存会員管理システム(スマートコア)+ MLサーバ+業者事務委託, の3つを検討している. ただし, JpGU事務委託は実施されない可能性がある. 会員管理システム(スマートコア)にはMLがないため, 独自に作成する必要がある. 2024年12月にJpGU新システムと調整したのち, 2025年1-2月に新事務局体制方針を決定, 5月運営委員会・総会での議決を目指す. 現事務員の契約は2026年度も維持する必要がある, 契約継続に向けた調整をはじめることが認められた.

### 5. 第18期上期一般会計・特別会計予算案(横田 財務専門委員長)

例年通り. 支出は学会誌が約300万円を占める.

**6.自然災害に伴う会費免除措置等について(横田 財務専門委員長)**

早めの申請をお願いしたい。翌日の総会で、振り込み用紙の発行の廃止を提案する。

**7.遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)**

順調に発行している。

**8.遊星人の電子化について(三浦 編集専門委員長)**

明日の総会で意見を募る。遊星人事業経費が会費収入の40%を占める。経費削減案の1つとして電子化を検討している。完全電子化、部分電子化、電子化+プリントオンデマンド、従来通りの4通りを検討。

**9.EPS誌分担金の減額について(大竹 欧文誌専門委員長)**

現状では惑星科学会20万円を分担している。黒字が出ているため、各学会1割の減額を予定している。減額について運営委員より異議は無かった。

**10.入退会状況報告(諸田 総務専門委員)**

一般正会員522名、学生正会員135名、学生会員は昨年より10名程度増加。

**11.現在の事務局体制及び今後の契約について(渡邊 総務専門委員, 代理:諸田 総務専門委員)**

学会名義のゆうちょ銀行新口座が開設した。学会業務の整理を木田さんにしていただいている。

**12.会員の身分移行について(諸田 総務専門委員)**

購読会員から正会員への身分移行希望があった。

**13.入会申請の対応について(諸田 総務専門委員)**

誤った入会申請を防ぐため、文言を入会申請ページに追加。入会承認のメール報告を簡略化した。

**14.会員の再入会について(諸田 総務専門委員)**

退会済み元会員から会員の再入会の希望があった。新しいアカウントを作成することにした。

**15.男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会について(奥住 総務専門委員)**

対外協力・連携専門委員会に「男女共同参画・ダイバーシティ推進委員」を設置し、この委員がJpGUダイバーシティ担当委員を兼務することを提案する。提案は認められ、現在のJpGUダイバーシティ担当委員に打診することになった。

**16.第62回総会の議長及び書記の推薦について(諸田 総務専門委員)**

議長に小林真輝人会員、書記に辰馬未沙子会員を推薦する。推薦は認められた。

**17.第18期役員選挙について(藤谷 選挙管理委員長, 代理:諸田 総務専門委員)**

慣例どおり、総務専門委員が担当することが承認された。選挙期間は11/5-11/18、開票は11/19。

**18.2024年度最優秀発表賞・優秀発表賞選考結果について(百瀬 学会賞選考委員長)**

今年度は21名の応募(過去最多)があった。予稿に基づき、11名を本審査対象とした。審査の結果、最優秀発表賞

を吉田有宏会員と神野天里会員に、優秀賞発表賞を平井英人会員と福原優弥会員に授与することが提案された。選考委員会の提案通り、受賞者を決定した。

以上

## ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2024年12月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・NV5 Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック

## ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a) 場所, (b) 主催者, (c) ウェブページ/連絡先など。

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません。各自でご確認ください。

---

### \* 2024/11

---

#### \*\* 2024年11月5日(火)-11月8日(金)第68回宇宙科学技術連合講演会

- (a) 姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじ
- (b) 日本航空宇宙学会
- (c) 第68回宇宙科学技術連合講演会(<https://smartconf.jp/content/ukaren68>)

#### \*\* 2024年11月22日(金)-11月24日(日)第20回衝突研究会「天体の衝突物理の解明(XX)～日本の衝突研究の未来II～」

- (a) 北海道大学理学部5号館305室
- (b) 衝突研究会
- (c) 第20回衝突研究会(<http://impact-res.sakura.ne.jp/impact24/index.html>)